

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 54 回まちづくり構想部会）会議録

日 時：令和 7 年 3 月 13 日（木）午後 8 時 17 分～午後 8 時 40 分
場 所：東淀川区役所 3 階区民ホール

【議事】

1 開会

2 議題

- ・ (1) 地域での活動報告及び意見交換
- ・ (2) その他
- ・ ・新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウムについて

3 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 第 53 回「まちづくり通信」

1. 開会

2. 議題

(1) 地域での活動報告及び意見交換

(事務局)

- ・ 前回の会議以降、下新庄地域と東淡路・柴島地域で、ワークショップなどアクションプランの検討を行った。簡単に 2 つの地域からご報告いただく。

【下新庄地域】

- ・ 1 月 30 日にワークショップを開催し、アクションプランの叩き台もできあがった。次回 3 月 28 日のワークショップで、アクションプランの叩き台の内容を精査し、今後はそれに基づいて課題解決も図りながら進めていく。

【東淡路・柴島地域】

- ・ 2 月 22 日に第 1 回目のワークショップを開催した。新しい人や若い人にも入ってもらい、活発な意見も出てきて、良かったと思う。その後の町会長会議でも、ワークショップに参加した方が「こんな場（ワークショップ）があるから、みんなどんどん参加してね」と案内してくれた。

【西淡路地域】

- ・ 西淡路地域では、阪急高架下の駐輪場の整備を前倒しできないのか、といった意見が出ていた。

(久教授)

- ・ 東淡路・柴島地域のワークショップに地域課の地域づくりアドバイザーが参加したと聞いた。地活協の担当でもあるので、しっかりと関わってもらって区役所に地域の意見を持ち帰ってもらう。他の地域にも入ってもらったらいと思う。
- ・ 区役所にとっては、役員をしていない住民さんの声を聴く機会は少ないので、まちに思いがある人に、どんどん積極的に参加してもらおうとよい。この人にまちづくりに関わってほしいと思う方が地域の中にも何人もいると思う。ワークショップは、そういう方に関わっていただく機会にもなる。せっかく思いを持って動こうとしているのに、地域の役が回ってこない、意見も言えず活動に参加できない、というのはとてももったいない。新しい人、前向きな人にも入ってきてもらうきっかけづくりとしてもワークショップを

やっていただきたいと思うし、計画づくりのためにワークショップをやるだけでなく、日々、集まって意見交換ができて、まちづくり活動につながれるような機会として、ワークショップをやっていただくとうれしい。

(2) その他

- ・事務局から、1月30日に開催された「新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム」について報告があった。

(部会長)

- ・私も出席していたが、約200人の参加があり、盛況だった。(シンポジウムで発表していた)大学のゼミ生に部会に来てもらい、報告してもらってもよいのではないかと思った。

(久教授)

- ・近鉄奈良駅は、駅なかではなくて、商店街に人が流れていく、あるいは、奈良公園、春日大社などに人が流れていく。駅はこじんまりしていますが、そのことによって、まちに人が流れていくわけで、買い物したり、食事をするのは商店街になる。一方で、大阪駅は、KITTE大阪などができたが、全部ビルの中だけでお金を落とさせる話になって、一部の人の儲けにしかならず、これでいいですかって言ってきた。どうやって新大阪駅から東側へ人を流して行って、お金を落としてもらって、にぎわいを作っていけるかが今回の勝負なので、そのような観点で検討いただければと思う。
- ・シンポジウムのなかで「鉄道や道路で分断している」とあったが、鉄道側として、どのように考えてくださるのか、ぜひともJRにも協議会に関わっていただいて、一緒に考えてもらいたいと思う。期待している。

3. 閉会

- ・次回5月の部会は、阪急洛西口駅の見学を予定。後ほど日程調整させていただく。

以上